

『わたしをだれだと言いますか』(マタイの福音書 16:13-20) 2021.2.14.

<はじめに> 「相手を知っている」と言っても、そのレベル・内容は様々です。名前・顔を知ること
辺りから始まり、行動・能力・特徴・性格などを接する中でつかみ、常に更新深化されます。これは
人間関係だけでなく、神様についても同じです。

I 人の子をだれだと(13-14)

①ピリポ・カイザリア(13)

ガリラヤ湖から北へ約 40 km、ヘルモン山南麓に広がる高原で、ヨルダン川の水源地の一つ
です。ヘロデ大王の子ヘロデ・ピリポが建てたローマ皇帝崇拝の神殿がある町です。イエスが、
このユダヤ境界の地に弟子たちを導かれた意図はあったのでしょうか。

②最初の質問(13-14)

イエスは自身を「人の子」と好んで称します。イエスはまず世の人々が自分を何者だと言
っているのかを弟子に問われます。人々は、バプテスマのヨハネ(14:1-12)、著名な預言
者エリヤ・エレミヤ、昔の預言者と重ね合わせて見ていました。

③情報収集と私たち

人々が口々にいろんなことを言います。全てが嘘過ちでなくても、個人的な意見・推論・
願望・噂などが混ざっていて、真実とは似て異なるものです。それを鵜呑みにせず、自ら
真実を確かめる必要があります。そのためにどんな方法を活用していますか。

II わたしをだれだと(15-16)

①核心の質問(15)

あなたがた「は」は区別の助詞で、イエスは弟子たち自身の理解を尋ねます。イエスととも
に歩み語らい、傍らで教えや御業を見聞きする者が、イエスをどう理解しているかです。こ
の問い掛けは福音書の核心であり、私たちにも向けられています。

②生ける神の子(16)

代表してシモン・ペテロが答えました。朽ちるもので昔作られた神ではなく、昔も今も永遠
までも働かれる造り主なる神が、人となってこの世に生きておられます。また私たちとは全
くかけ離れた偉大な御方です(イザヤ 55:8-9、ロマ 11:33、I コリント 1:25)。

③キリスト(16)

偉大で優れた方に未熟で欠けだけの者が近づくことは恐れ多いことです。しかし主は、
近づこうとする者に手を差し伸べ、助け導き、支える方です(14:30-31)。イエスはキリスト
(救い主)ですと認めること、イエスは私の救い主と告白することは同じでしょうか。

III あなたは幸いです(17-20)

①父が明らかにされた(17)

人が、イエスを生ける神の子キリストであると知り、信頼を告白できるのは、知識・経験・思
索だけによるものではありません。天の父なる神が覆いを取り除き明らかにしてくださったか
らです。だから誇ることはできません。神のあわれみと恵みをほめたたえるのみです。

②この岩の上に、わたしの教会を(18)

答えたペテロを掛詞にして、16 節の告白を土台にしてイエスはご自分の教会を建てると
宣言されます。教会(エクレシア)は主に呼び出された者たちという集合名詞です。死と滅
びに至るよみの門に吸い込まれる他ない私たちを、呼び出し引き止めてくださいます。

③天の御国の鍵(19)

加えて天の御国に自らも入れ、また自らが招き入れることもできる鍵を与えられます。それ
を地上でどう使うかが、天と直結しています。鍵を委ねられた者の責任は重大です。私た
ちは誰を思い浮かべ、この鍵を使いたいでしょうか。

<おわりに> 20 節の禁止命令はどうしてなのか、何のためなのかは、思い巡らしてください。この
信仰告白はまず誰に向けて告げるべきでしょう。かつて主を告白した方も、今、イエスがだれ
で、どんな御方だと言いますか。それは更新深化されているのでしょうか。(H.M.)